



村木 俊之

SME日本支部
ステアリング委員長

ステアリング委員長に就任して

(実施できたこと、課題など)

私が積極的にSME日本支部に関係したのは、故垣野先生より2013年にステアリング委員に推薦していただいたからで、2014年にはヤマザキマザックの長江副社長が支部長に就任するとともに、前任のDMG森精機の藤嶋さんよりステアリング委員長を引継ぎました。2012年以前には、SMEの活動をあまり理解せずにプログラム委員を勤めておりました、ほとんど戦力にならない状態でしたが、金型はこね荘での委員会にも2度ほど行かせていただきました。

2012年11月には、八賀事務局長の指揮で支部創立50周年記念行事が盛大に行われ、何も問題が無いように思いながら、2013年からステアリング委員会に参加するようになりました。しばらくは何をして良いか分かりませんでした、会議のたびに経理状況が悪そうということだけは感じておりました。本部への送金金額が円安により実質20%以上の値上げとなったこと、および会員数の減少に伴う会費収入減などが原因と聞きましたが、支部の経理運営は自転車操業状態でした。

この状況を打開すべく、当時の支部長であったDMG森精機の森社長より本部への納付金額の大幅値引きの交渉を行っていただき、2014年からの値引きを勝ち取ったこと、および経理の専門家を派遣していただき、支部会計方式の見直しを実施したことで、かなり支部会計が見えるようになるとともに、収支は徐々に改善してきました。

支部会計の安定化と並んでの課題は、会員の増強です。昨今この学・協会も会員数の減少が問題になっております。会員を増やす、あるいは最低でも維持継続してもらうためには、会員サービスにより支部の魅力を増やす必要があります。そのために委員会としていろいろと努力してきました。ここでは実施した項目を挙げてみます。実施内容の詳細につきましては本冊子の別ページなどをご参照いただければと思います。

- ・本部 Award への毎年の推薦と受賞のためのサポート
- ・月例会の毎月開催と内容の充実
- ・ライブラリ「日本の工作機械を築いた人々」の再開、および年1回の英文ジャーナル発行
- ・支部ホームページの再構成と充実 <http://www.sme-japan.org/>
- ・資格試験合格証授与式の再開 など

これらの取り組みも、まだまだ会員の皆様に十分満足していただけるとは思っておりませんし、また実施も個人の頑張りに頼っているところが大きく、継続していくための仕組み作りが必要と考えております。

そのほかにも支部として以下のような多くの懸案事項があります。

- ・支部の法人格の取得とマイナンバーへの対応
- ・本部への納付金値引きの継続・恒常化を獲得しての支部財務の一層の強化
- ・事務局の方々の待遇改善
- ・もっと多くの会社からの資格試験の受験者獲得
- ・支部役員の若返りと組織継続の仕組み作り
- ・テレビ会議化等による各委員会への出席人数の増加 などなど

このように、多くの課題があり、SME日本支部が継続・発展していくためにはどれも実施することが必要な項目です。簡単ではありませんが、会員・委員の皆様にご助力いただき、徐々にでも実施していこうと考えております。

皆様の多大なるご支援・ご協力を何卒よろしくお願いいたします。